

# おなやみ相談室 ④ 見せるチラシ作りのポイントとは？



「見せる」チラシを作るためのポイントを教えてください。

レイアウトの原則を知り、ウリを目立たせる工夫をしましょう。  
タイトルは大きく。①何を、②いつ、③どこでの3点は必ずはっきりと書きましょう。



## 成功例から学ぶ



「レイアウトの原則」によると、タイトルだけで紙の3分の1ほどを占めているようですが？

たいていのチラシは、A4版、縦置きできるように作られていますから、上から3分の1をタイトルにして、目立たせることが大切です。また、こうすることで、個別に郵送する場合も、タイトルが見えるように3つ折りにできますし、ウェブ上にPDF化して掲載する場合も、画面でまず見えるのは、上の部分ですから、いろいろな場面で効果的に活用できます。



イラストやリード文を配置する際に注意する点がありますか？

リード文には、講座の概要や企画者の思いを5行以内におさめます。またフォントは、ゴシック体ではなく、明朝体などの細い文字がよいでしょう。

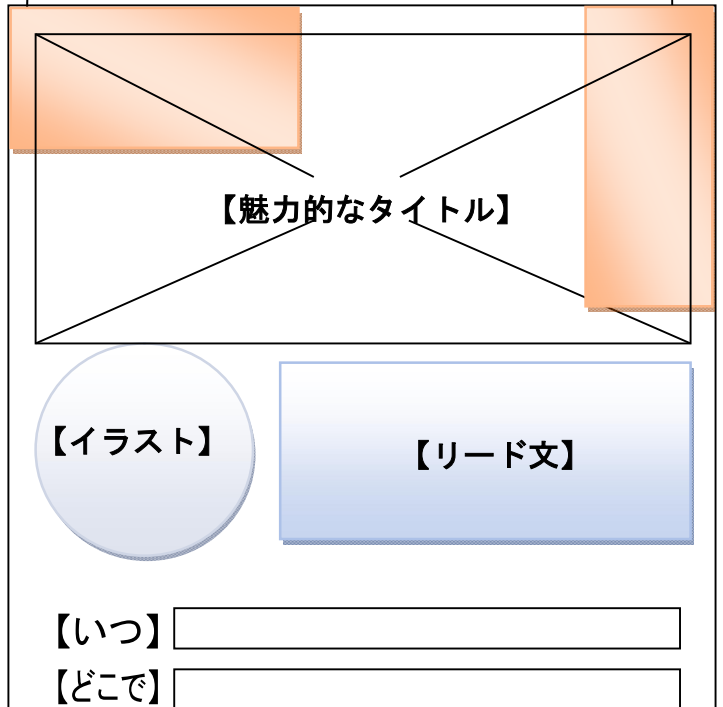
イラストは、内容が一目で分かるものを選びましょう。インターネット等でイラストを使う際には、著作権に抵触しないか注意しましょう。



## ◆ レイアウトの原則 ◆

【縦書きのゴールデンスポット】

【横書きのゴールデンスポット】



あくまでも原則ですが、慣れていない方は、まずこの原則を意識しながら作ってみましょう。人を多く集めたチラシを参考にして真似するのもいいですね。



思わず手に取りたくなる！

# チラシ作りのワザ

書体で雰囲気表現することができます

- ①ゴシック体…合理的・都会的・無駄のない印象
  - ②明朝体…標準的・バランスがいいという印象
  - ③ポツポツ体…親近感・楽しい印象
- 企画の内容に合わせて、どのような印象を持ってもらいたいのか、参加者の立場に立って選びましょう。

## 家庭教育講座

↑ワードアートの機能そのまま使ったのでは、読みづらく、効果的でないことが多い。